

平成20年度事業報告書

特定非営利活動法人 安心科学アカデミー

I. 事業期間

平成20年4月1日～平成21年3月31日

II. 事業の成果

NPO 安心科学アカデミーの目的である、住民と共に放射線・原子力の問題についてコミュニケーションを図り、エネルギー問題、地球温暖化問題、環境問題、放射線、原子力等に関する諸問題を住民主導で対処できるようにするための事業活動を行った。その概要を下記に示す。

III. 事業概要

1. 特定非営利活動に係わる事業

1. 1 社会教育の推進を図る活動

(1) ホームページによる広報活動 <別紙参照>

<http://www.anshin-kagaku.com/>

(2) 会員に対する資料の配布

- ・ 保物セミナー2008 要旨集
- ・ 教科書に載っていない放射線のはなし
- ・ 原子力いろはかるた
- ・ 住民発 一緒に学ぶ原子力
- ・ 秋訪大阪和京都（台湾翁先生の日本訪問記）
- ・

(3) 講演会1

- ・ 開催日：平成21年3月16日（月）14時00分～17時00分
- ・ 場 所：電子科学研究所 貴賓室
- ・ 講 師：(財)放射線影響協会 清水由美子
- ・ 演 題：放射線被ばくに係わる疫学調査の動向

(4) 講演会2

- ・ 開催日：平成20年5月23日（金）16時00分～17時分
- ・ 場 所：電子科学研究所 6階中会議室
- ・ 講 師：大阪大学名誉教授 中村敏枝
- ・ 演 題：間の感性について

(4) 講演会2

- ・ 開催日：平成20年3月23日（月）16時00分～17時分
- ・ 場 所：電子科学研究所 貴賓室

- ・ 講 師：元藤田保健衛生大学 下 道国
- ・ 演 題：自然放射線とウラン廃棄物の接点（問題は何処にあるか）

1. 2 地域安全活動

(1) 安心科学アカデミーメールマガジンによる広報

安心科学アカデミー会員および関係者、団体に対して随時 E メールによる情報の発信を行なった。

(2) 「私の放射線被ばく」小冊子作成委員会

開催日：平成 21 年 3 月 16 日 12 時 00 分～14 時 00 分

場 所：電子科学研究所貴賓室

委 員：委員長 下道国 真田哲也、藤高和信、横山須美、辻本 忠
議 題：今後の編集方針について打ち合わせた

(3) 交流会 1

名 称：中村敏枝先生を囲む会

開催日：平成 20 年 5 月 23 日（金）17 時 00 分～20 時分

場 所：吉野

(4) 交流会 2

名 称：下 道国先生を囲む会

開催日：平成 20 年 3 月 23 日 17 時 30 分～19 時 30 分

場 所：吉野

(5) 保物セミナー2008 に協賛として協力

平成 20 年 11 月 27 日～28 日

会場：エルイン京都

参加者：165 名

詳細は NPO 安心科学アカデミーのホームページ参照

<http://homepage3.nifty.com/anshin-kagaku/hobutsu2008.html>

(7) 他の NPO 諸団体と連絡・調整を行う

III. 社員総会等の開催状況

(1) NPO 安心科学アカデミー総会

平成 20 年 5 月 23 日（金）14 時 30 分～15 時 30 分

電子科学研究所 6 階中会議室

下記の 3 件が提案され、原案通り承認された。

- 1) 平成 19 年事業報告及び収支決算の報告
- 2) 平成 20 年度事業計画及び収支予算
- 3) 役員改選

(2) NPO 安心科学アカデミー第 1 回理事会

平成 20 年 3 月 28 日（金）14 時 00 分～15 時 30 分

電子科学研究所 6 階中会議室

下記の提案事項について討議、原案通り承認された。

- 1) 元理事の川上猛雄氏の追悼集の発行について
- 2) 20 年度総会に対する提案事項について
- 3) 20 年度の活動方針について

(3) NPO 安心科学アカデミー第 2 回理事会

平成 20 年 5 月 23 日（金）13 時 30 分～14 時 30 分

電子科学研究所 6 階中会議室

総会提案事項について討議、原案通り承認された。

以 上

安心科学アカデミーホームページ現況報告

平成 21 年 5 月 16 日

ホームページ編集担当 輪嶋隆博

概要

近年の情報社会システムにおいて、インターネットの重要性は極めて大きくなっている。その情報力は場合によっては既存のマスメディアをしのぐ場合も珍しくない。これらのことから 2003 年 6 月安心科学アカデミーの広報事業を目的としてホームページを開設した。サーバーは nifty に設置し、URL (サイト標記名) は <http://www.anshin-kagaku.com/> を取得し管理者は輪嶋隆博 (北海道医療大学) が編集を担当している。

ホームページ広報の主眼

放射線・エネルギー・環境問題についての情報を知りたいときには、インターネットで検索すると情報を手に入れることができる。便利ではあるが辞書の範疇のものが大部分である。しかし困ったことにはイデオロギーの主張手段として間違った情報を流布しているものが散見されている。的確な情報や知識は、正確な情報と情報に対する議論が積み重なったものである。安心科学アカデミーはこの点をふまえ、多岐の分野にわたる多くの科学情報の論文をサイト上に掲載することによって、一般社会に科学情報とそれに関する議論を伝え、このことによって社会に正しい科学情報を認識してもらうことが重要と考えている。ホームページの編集方法として情報の提示→それに対する議論→注釈・引用を編集基盤にしているが、この手法はユダヤ民族の知的文化継承手段「タルムード」に倣ったものである。その時代におきた科学情報の議論を遺して後世に伝えていくことは知的財産となる。これは安心科学アカデミーの眼目でもあり、この過程で安心科学アカデミーが専門分野のみならず、広く社会に認知されることにつながると期待するからである。

成果

ホームページ開設以来、安心科学アカデミーの広報や協賛事業である保物セミナーの情報を掲載してきた。掲載項目や情報が年々充実してきている。一昨年から掲載項目をトップページに新設編集して、読者が安心科学アカデミーの活動内容がよりわかるようにした。

<ホームページ広報の影響力>

Google、yahoo! などの大手インターネット検索エンジンでも放射線に関するものは、安心科学アカデミーに掲載されている情報が常に上位順位で検索されるようになってきた。以上のことから、社会問題として捉えられ、安心科学アカデミーや保物セミナーで論議されている科学テーマの論文は一般社会に対して重要な広報になっていることがわかる。また、ホームページによる広報はマスメディアの報道の方向性を変えるほどの威力があることも経験済みである (中日新聞フェロシルト問題<2006 年>: 放射性廃棄物⇒六価クロム廃棄物)。真室先生の花のギャラリーも段々充実してきた。一般の方々が花の写真を検索して偶然安心科学のホームページに辿り着く方もいることも期待したい。

平成 20 年度のHP 広報の概要

閲覧者数

5月16日現在： 27,300 件

掲載項目

- 放射線被ばくへの健康影響 ○放射線防護の議論 ○リスクコミュニケーション
- 医療放射線 ○放射線照射利用 ○ICRP 放射線規制法令 ○トリチウム
- 地球環境 ○放射線教育 ○原子力災害への対応 ○放射線管理 ○放射線の単位用語
- エネルギー問題 ○環境放射線 ○原子力と環境問題 ○おすすめの本 ○トピックス
- スクラップ記事 ○アスベスト問題 ○放射線・原発報道の解説&論評 ○劣化ウラン
- ポロニウム ○フェロシルト ○廃棄物 ○放射線事故 ○電磁界（電磁波問題）
- 安心科学アカデミーの案内

特集サイト式掲載項目

保物セミナー（10）、 低線量健康影響報告、アスベスト問題 計 12 件

執筆者

156 名（延べ 232 名）（20 年度 32 名）

論文数

230 編（20 年度 32 編）

広報・案内

保物セミナー 勉強会の案内 お知らせなど 17 件（20 年度）

写真アルバムの掲載写真

花シリーズ 690 枚 スナップ写真 230 枚

web 上のページ数

1754 ページ

書籍に換算したページ数

4214 ページ

転載引用希望件数

4 件

読者からの質問

延べ 7 件（別紙添付）

平成 21 年度HP 広報の編集予定

安心科学アカデミーの広報は開設時から論文によるものを主体に編集をおこなっている。論文数が大変に多くなったので、サイト内の情報の引用・参照がしやすいようにサイト内リンクの工夫をしたい

以上